

地域別意見交換会報告書(最終版) 【箕面小学校区】

開催日時: 平成30年(2018年)11月17日(土) 19時~20時30分

開催場所: コミュニティセンター箕面小会館(日時計の家)

出席議員: 神田、楠、中井、尾崎、今木、岡沢、牧野、神代

参加者数: 13名

テーマ: 防災、地域コミュニティ、まちづくりについて

番号	項目	ご意見	回答
箕面 1	大阪府北部地震発震時の阪急電鉄との連携について	大阪府北部地震の際、中央線の阪急電鉄踏切が閉まったままになっており、交通麻痺が起こっていました。箕面市と阪急電鉄との連携はできているのか。	市から阪急電車に対して、問題提起をしています。速やかに具体的な議論を進めていきます。
箕面 2	大阪府北部地震における幼保小での検証について	大阪府北部地震の際、幼稚園・保育園・小学校では限られた職員数で児童保護などの対応を行い混乱があった。市や教育委員会はその検証を行い、対策を考えて欲しい。	【子ども未来創造局】 大阪府北部地震の経験を踏まえ、幼稚園、保育所及び小・中学校と連携して大規模地震発災時における対応マニュアルを見直すとともに、子どもの安全確保のための対策を講じていきます。 【子ども未来創造局(子育て支援)】 大阪府北部地震において、幼稚園・保育所の各園所では、毎月、地震・風水害・防犯のいずれかに関する避難訓練を実施していることから、今回の地震でも日頃の訓練の成果によりスムーズに対応できたと考えています。 安否確認等に関して、保護者への連絡は、今回、保育所では全件電話連絡を、幼稚園では電話の連絡網を活用しました。保護者会によって作られているメーリングリストなどもあるようですが、公的に把握はしておらず、今回は活用しませんでした。今後、メーリングリストでの配信など、速報性の高い手法を検討する必要があると考えています。 なお、休園の情報は市民安全メールやタッキー816でも比較的早いタイミングで発信しているため、安全メールへの登録なども引き続き啓発していきます。
箕面 3	災害時における老朽化した空家の対策について	地震や台風などの災害時、老朽化した空家の屋根や塀が崩れそうで不安である。特に通学路において子ども達の安全を確保することが必要であると考えているが、対策はどうなっているのか。	老朽化した空き家等に関しては、現場確認後所有者等に対して、必要な処置を行うよう指導を行っていきます。
箕面 4	災害時における高齢者、特に独居の方の対応について	災害時において高齢者、特に独居の方が避難所へ行くことが困難であったと見受けられたが、その対応はどうなっているのか。	・高齢者など避難に時間を要したり、移動自体が困難な方がいること、また、風水害時には、外に出ることがかえって危険な場合もあることから、広報紙もみじだより平成30年9月号で台風や豪雨などによる土砂災害リスクの程度に応じた避難方法をお示ししました。高齢者に限らず、「屋内で安全を確保する」エリアにお住まいの場合は、無理をして避難所に避難するのではなく、がけから離れた部屋でお過ごしいただき、ハザードマップのレッドゾーン内にお住まいの世帯やハイリスクエリア内における平屋建ての世帯におかれては、暗くなる前に、そして、風雨が強くなる前に避難所に避難していただくことが肝要です。市としても、「避難準備・高齢者等避難開始」情報をできるだけ早い段階で発令し、避難所から離れた地域にお住まいの高齢者が、余裕を持って安全に早めの行動をとっていただけるように努めています。「避難所に避難」を要する高齢者が、自力での避難が困難な場合は、あらかじめ近所の方に一緒に避難していただくよう声を掛け合っていたりなど、共助、互助の心づもりをしていただくことも大切です。万が一、高齢者等が予期せぬ事態により、避難所に避難しなくても避難できない場合は、まずは共助をもって対応いただき、なお、対応が難しい場合や、命に危険が及ぶような切迫した状況の場合には、市災害対策本部で可能な限りの救援を行います。
箕面 5	箕面団地の防犯について	箕面団地の入居者数が年々減少する中、人が少ないことに加えて、夜間部屋から漏れる明かりも少なく暗くて不安である。対策を考えて欲しい。	ご意見については、今後の建て替えに関する協議や事前相談などの機会を通じて大阪府住宅供給公社に伝えてまいります。
箕面 6	箕面団地の建て替えについて	箕面団地の建て替えが決まっているようであるが、そのスケジュールや建て替える順番などを知りたい。	大阪府住宅供給公社からは、現時点において建て替えに関する説明等は、スケジュールを含めて無い状況です。本件は、開発許可を伴う大規模な開発行為になりますので、許可審査を進めながら並行して箕面市まちづくり推進条例に基づく詳細の協議を行うこととなります。今後、計画の具体的な内容等に関し大阪府住宅供給公社から事前相談等があった際には、入居者はもちろんのこと、周辺住民に対して丁寧な説明対応を行うようお願いするとともに、条例協議に向けては関係所管部署において情報共有し、適切な対応となるよう準備してまいります。
箕面 7	自治会の加入率低下について	自治会へ加入する人が減っているように思えるが、未加入者に対し自治会の意義を伝えられているのか。	自治会係では、年6回「もみじだより」に、「自治会に加入しましょう」という記事を掲載しています。また、年度替わりの転入世帯が増える期間は、本館1階に自治会加入の特設コーナーを設け、転入された方に自治会加入の必要性を伝えています。今後も地道ながらも加入促進を続けていきます。

番号	項目	ご意見	回答
箕面 8	地域行事へのこどもの参加率について	ペタンク大会など三世代交流を含め地域行事を年間通じて行っているが、こどもの参加率が低いように思えるが対策はないのか。	現在の子ども達は塾や習い事などで非常に忙しいため、地域団体であるこども会の加入率も低迷しています。しかし、地域行事等に参加することは地域とのつながりを作り、地域への愛着を醸成する場でもありますので、ペタンク大会などのスポーツ行事については、こどもの参加率向上のため、地域におけるスポーツ推進の担い手であるスポーツ推進委員などと連携しながら事業展開を図っていきます。
箕面 9	グリーンホールの跡地活用について	船場東に整備されるホールが開館されると同時にグリーンホールが閉館となるが、跡地の活用方法は決まっているのか。	市民会館の跡地活用についてですが、現時点においては具体的な考えはなく、移転を予定している平成32年度までの間で、売却やまちのグレードを高める利活用策を含め、今後さまざまな角度から検討を行っていきます。
箕面 10	こどもの教育について	小学校の35人学級実現など子育て世代の意見を行政は反映していないように思えるが、意見を聞く体制はどうなっているのか。	小学校における35人学級の実現につきましては、毎年国及び大阪府に対して要望しているところです。予算に限りがあるため、市民のみなさんからいただいたご意見すべてに、直ちにお応えすることは困難ですが、内容を精査し、実現可能なものから施策に反映していきます。
箕面 11	子ども食堂について	箕面市の貧困率は低いわけではないと思う。他の行政は工夫してるのに箕面市はいつもゼロ回答だ。工夫して欲しい。教育委員会の後援もない。	市としては、他市の子ども食堂の事例について情報収集してきましたが、子ども食堂については、支援を必要とする子どもが利用しているのか検証が難しいなどの課題も指摘されています。また、「子どもの貧困等による影響に対して役立てる」と表明されている子ども食堂については、「貧困の子が参加している」という偏見の助長や対象児童の自尊感情の阻害につながる恐れがあり、その可能性は否定できません。現在のところ、本市においては、子どもの貧困の根絶の施策の一つとして、子ども食堂への助成制度及び箕面市教育委員会の後援については検討していません。
箕面 12	虐待死事件を受けて	事後対策は必要だけれど、警察を入れるより事前の対策に力を入れて、予防措置を講じて欲しい。	平成29年12月の虐待死亡事件を受け、以下の再発防止策を講じ、事前の対策に力を入れています。まず、市の関係課・室の連携に隙間があったことの反省を踏まえ、要保護児童とその家庭を支援する専門組織「児童相談支援センター」を平成30年4月に設置しました。ここに副部長級のセンター長を配置し、関係するすべての課長・室長を担当室長として兼務させることで、横断的に指示・命令し、必要な支援に抜け・漏れがないよう対応しています。また、リスク判断の専門性が不足していた反省をふまえ、社会福祉士・保育士・教諭・精神保健福祉士等の資格を有する「子ども家庭総合支援員」の任用・配置を進め、保護や支援の必要な家庭への支援を強化しています。さらに、子ども家庭センターを運営する大阪府から、専門的なノウハウや豊富な経験を有する職員を派遣いただき、児童家庭相談に関する専門的な指導・助言を受けて支援体制を強化しています。次に、要保護児童対策協議会児童虐待部会について、大阪府池田子ども家庭センター、大阪府池田保健所の専門職が行う判断に対して市の関係課・室が対等に協議するだけの専門性を備えていなかったことに加え、第三者の立場からのチェックが行われていなかった反省を踏まえ、運営を強化しています。まず、市の委員を児童相談支援センター長に一本化し、児童虐待事例について事前に専門的なアセスメントを行ったうえで、協議に臨んでいます。また、より厳しい観点でリスク判断を行うため、大阪府の機関に加え、第三者委員として、大阪府箕面警察署、弁護士、学識経験者を追加し、対応内容の協議にあたり客観的なチェックを受けています。
箕面 13	SSWについて	SSWはどんな割合で入っていて、どのような活動をしているのか。システムは聞くところでは4校に1人？とかではないか。加配でしようという話もあるが少ない、課題だと思う。	府費でSSW1名を小中一貫校2校に合わせて年間30回、市費でSSW2名をその他の小・中学校18校に月に1、2回配置しつつ、全体を統括するSSW1名を特別職非常勤職員として必要に応じて配置しています。主な活動内容は課題を抱える児童生徒、保護者への支援に向けて、ケース会議で見立てや助言を行うとともに、関係機関との連携を進め、子ども、保護者を取り巻く環境調整を行っています。現在は市費3名と府費1名により活動の充実を図っていますが、今後さらなる増員配置が可能となるよう、国・府に対してもSSWの教職員定数化を要望しているところです。
箕面 14	養育費について	明石市では市が養育費の催促を手伝うなどの支援や養育費補助の進んだ子育て支援がある。貧困に直結すると思うが箕面市は。	明石市の養育費立替パイロット事業は画期的な取り組みですが、今回は施行的(モデル事業)な実施です。諸外国では行政が立て替える制度があるとのことですが、大阪市がこの4月から、同様の制度を本格的に「養育費を確保するための総合支援策」として予算計上をする予定です。課題は、強制執行ができる文書が必要とありますが、それでも督促や給与差し押さえが法的にどこまでできるのか、それにかかる費用は保証会社費用となるようですが引き受ける事業者があるのか、また最終予算がどれくらいかかるのかなどの検証が必要です。議会としては、今後、明石市、大阪市の進捗状況を精査し、箕面市の可能性などを検討していきたいと思えます。
箕面 15	チャレンジテストに係る特定迫る事件について	議会としての判断を明らかにして欲しい。民間企業であれば、教育長が「言わず」というハラスメントが起きているのは問題だ。ファシズムを感じる。議会としてどういう姿勢をとるのか結論を出して欲しい、まだやっていないのか。	一般的には、執行機関側が課題解決に向けて、議員の発言内容や要望事項に対して、その趣旨や詳細を確認すること自体は、特に問題はないと考えます。指摘頂いた事案については、当該議員が不快感を感じたことについては認識しています。その後の平成30年第4回定例会において、当該事案に関する一般質問が行われ、その質疑、答弁を通じてこの事案の詳細を全議員が共有したところですが、議員個人個人の受け止め方に違いがあることから、議会としての統一見解を示すことは困難と考えています。
箕面 16	ステップアップ調査について	チャレンジテストとどういう違いがあるのか。テスト、テストで子どもたちを追い詰めていることが問題ではないか。先生一人で分析を見てののか、連携はどうとっているのか。	チャレンジテストは生徒の学力を把握・分析することに加えて、調査結果を活用し、公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供するという目的があります。また分析は学年単位、教科単位で分担して分析をしているので、教師1人で分析しているわけではありません。
箕面 17	チャレンジテストについて	是非が出ている。子どもに学力だけを求めすぎている。「内申に響く」というのは脅しのようだ。支援学級の子どもが受けられないこともあった、一生残る人権侵害が起きている。	中学校では、道徳や総合、特活など、教育課程全体を通じて生徒に必要な力を身につけさせており、「学力」だけを求めているわけではありません。学校行事や放課後の部活動等の生徒の姿を見れば明らかです。また、箕面市内で、当日の体調不良で支援学級の生徒が「受けられなかった」事例はあるかと思いますが、「受けさせなかった」事例は一例もありません。

番号	項目	ご意見	回答
箕面 18	空き家問題について	寮だったところが問題になっているところもあるがどう対策等されているのか。	老朽化した空き家等に関しては、現場確認後所有者等に対して、必要な処置を行うよう指導を行ってまいります。
箕面 19	J-ALERTについて	主旨をいうと朝鮮情勢がどうか等政治の話が前に出ているが、自治体で実施なのだから市の現状に併せて実施はできないのか。国防や治安維持の方が前面に出ているが、本当の防災は何なのかを考えて欲しい。	J-ALERTシステムは、防災及び他国からの攻撃など、国民に安全・安心の確保を目的としたものです。市としても、このシステムをできるだけ有効に活用できるよう検討してまいります。
箕面 20	滝道について	山林の手入れが足りていない。	滝道を含めた府営箕面公園の管理については、大阪府（池田土木事務所）となりますので、ご意見を伝えます。
箕面 21	災害時の情報収集について	自ら情報をとりにいけない高齢者の情報収集方法、対応について聞きたい。	市から発信する災害情報については、コミュニティFMタッキー816や市のホームページで入手をお願いしています。また、高齢者への避難情報の提供については、今後の高齢社会の本格的到来を見据え、高齢者への情報提供に特化したシステムの開発に注視し、先進的な取り組みをしている市町の手法を研究してまいります。
箕面 22	ハザードマップの周知について	小学生なども含めた周知徹底及び防災教育を求める。	子ども未来創造局と調整し、実施手法を検討してまいります。
箕面 23	ブロック塀補助について	補助対象家屋への柔軟な対応を求める。	ブロック塀の状況を1件ずつ詳しく聞き取り、安全が確保できる塀等に対して補助金を交付していますので、ご理解願います。
箕面 24	災害時の独居老人について	地域と接点のない独居老人への対応について。	独居高齢者に緊急通報機の設置を始めとした各種施策を講じています。社協の一声訪問活動、民生委員による見守り活動などとも連携した市全体での支援体制が必要です。議会としても新たに各小学校区ごとに設置される暮らしサポートセンターを核とした独居高齢者対策を追求してまいります。
箕面 25	保育士配置基準について	市内の公立保育所について、5対1から6対1に変更になったことへの説明が不十分。5対1を据え置いている他市に保育士がいくのではないかと心配している。	・平成29年6月に国が「子育て安心プラン」を公表し、遅くとも平成32年度末までに全国の待機児童を解消する方針を打ち出し、1歳児の待機児童が多数発生しているにもかかわらず1歳児保育士対数を国基準以上としている市町村は、その対数を国基準の6対1にすべきと指導がありました。 ・本市においても1歳児の待機児童が生じており、中には早期の保育所入所により育児休業からの復職をしなければ職を失う等の逼迫した状況のかたもおられることから、国の指導に基づき保育士対数を見直すこととしました。
箕面 26	公立保育園の学校法人化について	法人化により給料変動が起こることで、箕面市から保育士がいなくなるのではないかと心配している。	学校法人移管後の職員の処遇に関する市の考え方としては、現在の幼稚園教諭、保育士等の職員の処遇は変えないことを大前提として課題整理を行っていくこととしており、大幅に職員が入れ替わることなく、円滑に学校法人による運営に移行していくことを目指しています。今後も人事当局等と連携しながら丁寧に事務を進めていきたいと考えています。
箕面 27	オレンジゆずるバスについて	1時間に2本に増便してほしい。日、祝も特別運行ダイヤではなく、通常通り運行してほしい。	・平日の本格運行ダイヤにおいては、1ルートの走行時間を120分とし、1ルート2台のバスで運行することにより、バス停1時間に1本のパターンダイヤを導入しており、1時間に2本を運行するためには、バスの車両を増やす必要があり、現状では非常に困難です。 ・日祝ダイヤにおいては、実証運行期間に、平日と同じダイヤで運行していましたが、利用者数が少なかったことから、廃止も検討しましたが、存続の可能性を探り、平成28年7月から「お買い物バス」として本格運行を開始した経緯があることから、現状では平日と日祝のダイヤ統一は困難です。 ・今後のバス路線再編に伴うオレンジゆずるバスの見直しの中で、検討事項の一つとして扱います。
箕面 28	オレンジゆずるタクシーについて	災害時の運行状況について知りたい。	・オレンジゆずるタクシーについては車両に損傷がなければ運行をします。 ・お客様から台風のと きなど当日キャンセルの連絡が入ることがありますが、キャンセルがない場合は予約通り、運行します。 ・災害時だからと車両を減車するというはしていません。 ・逆に当日のキャンセルが多く空き車両がでたときには車を市が借りて車いすの方を避難所に送っていくなどの対応をしています。
箕面 29	老人ホームについて	週刊誌で箕面市では2025年には老人ホームが足りなくなるといった記事を見たが現状は。	箕面市の現状の数字では、第7期(2020年度まで)は住宅型有料老人ホーム、サービスつき高齢者向け住宅を含む施設は充足しています。介護保険施設のみではどうなのか、という点と現在調査中の介護予防の取組みについて検証し、2025年度までの介護計画で施設が不足しないよう、議会としてチェックをしてまいります。
箕面 30	公園の管理について	とどろぶち公園の維持管理ができておらず、トイレも汚い(天井に穴が空いている)。和式トイレを洋式に変えてほしい。	トイレの清掃は週2回実施しています。また、天井の穴も修繕完了しています。トイレの洋式化については、コンビニエンスストアや商業施設におけるトイレの一般開放が進んでおり、必要性について検討が必要だと認識しています。
箕面 31	桜井駅前のまちづくりについて	駅前にトイレ設置を求める。(現在、桜井マルシェ開催時に駅構内のトイレは使用不可)	桜井駅前のトイレについては、新たに設置するのではなく、周辺店舗のご協力を頂き「おもてなしトイレ」で対応すべきと考えています。

番号	項目	ご意見	回答
箕面 32	都市計画道路について	パブリックコメントを募集しているが、周知が足りていない。	周知に関しては、通常行っている市広報紙(もみじだより)及び本市HPへの掲載に加え、市のツイッターにより行いました。
箕面 33	ワンルームマンション等の建設について	周辺地域住民の声をもっと聞いてほしい。	参考意見とさせていただきます。